

令和 7年度 第 6 回 運営推進会議議事録

開催日時	令和 8年 3月 27日 (金) 14:00～																
開催場所	(株)フォーユー本社会議室																
出席者	<table border="0"> <tr> <td>事業者</td> <td>4 名</td> <td>地域包括</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>0 名</td> <td>町内会長</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>利用者家族</td> <td>0 名</td> <td>民生委員</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0 名</td> </tr> </table>	事業者	4 名	地域包括	1 名	利用者	0 名	町内会長	1 名	利用者家族	0 名	民生委員	1 名			その他	0 名
事業者	4 名	地域包括	1 名														
利用者	0 名	町内会長	1 名														
利用者家族	0 名	民生委員	1 名														
		その他	0 名														
検討内容	<p>① 感染症対策について 感染症の対策状況について報告を行った。手洗い・消毒・換気の継続に加え、面会時の体調確認を実施していることを説明した。また、併設の住宅型有料老人ホームに多数の高齢者が生活していることから、一度感染症が発生すると拡大しやすい環境であるため、職員間での情報共有や早期対応を徹底していることを確認した。</p> <p>② 転倒事故防止について 介護度の重度化に伴い、歩行不安定や認知機能低下による転倒リスクが高まっていることについて協議した。特に夜間帯や居室内での転倒が起りやすいため、定期的な居室環境確認、職員による声掛け強化、個別状態に応じた見守り、福祉用具の適切な使用等を重点的に行っていることを報告した。</p> <p>③ レクリエーションの充実について 利用者の高齢化により、長時間活動への参加が難しくなる方が増えている一方、日常の楽しみや生活意欲の維持が重要であるとの意見があり、身体を動かす活動だけでなく、昔馴染みの遊びや季節感を感じられる行事を継続することの大切さについて確認した。また、少人数でも楽しめる個別レクリエーションの充実について検討した。</p> <p>④ 地域との関わりについて 地域密着型サービスとして、地域との交流機会を増やしていく必要性について話し合った。近年は感染症の影響もあり、地域行事への参加や地域住民との交流機会が減少しているため、今後は無理のない範囲で地域との関わりを再開していく方向性を確認した。</p>																

意見・要望	<p>■町内会長より 「地域の高齢者世帯も増えており、施設が地域の相談先として存在してくれることは心強い。今後も地域とのつながりを大切にしていきたい。」との意見があった。</p> <p>■民生委員より 「独居高齢者や高齢夫婦世帯では、認知症や介護負担の問題を抱えている家庭も多い。介護サービスについて地域住民へ周知してもらえると安心につながる。」との意見があった。</p> <p>■地域包括支援センター職員より 「小規模多機能は柔軟なサービス提供ができるため、自律した生活の継続に重要な役割を担っている。今後も地域や医療機関、包括支援センターと連携を継続してほしい。」との意見があった。また、「職員不足が全国的な課題となっているため、職員の負担軽減や定着支援も重要である。」との助言があった。</p>
今後の課題	<p>利用者の重度化に対応したレクリエーション内容を検討する。 職員の負担軽減や人材確保について継続的に検討する。</p>
<p style="text-align: center;">小規模多機能そよかぜタンポポの家 次回予定 令和 8年 5 月 22 日(金)</p>	